

事務事業及び予算の執行実績

(令和4年度分、「一部、令和5年度分を含む」)

静岡県立天竜特別支援学校

目 次

	ページ
1 事務事業に関すること	
(1) 事業の概要	1
(2) 事務執行の根拠法令調	14
(3) 学校施設の概要	15
(4) 在籍生徒調	17
(5) 入学志願者及び入学者数調	19
(6) 卒業生の動向調	20
(7) 生徒の状況	21
2 職員に関すること	
(1) 職員調	23
(2) 職員の年齢調	25
(3) 健康管理	26
3 予算の総括に関すること	
(1) 預金調	27
(2) 郵券等受払調	28
(3) 委託料等歳出予算執行状況節別集計表	29
(4) 委託料等歳出予算執行状況節別集計表	30
4 補助金等に関すること	
(1) 委託料に関する調	31
(2) 負担金支出調	33
5 工事に関すること	
(1) 建築工事調	34
6 財産に関すること	
(1) 公有財産調	36
(2) 借地借家等調	36
(3) 行政財産貸付・使用許可調	37
(4) 主要備品調	38

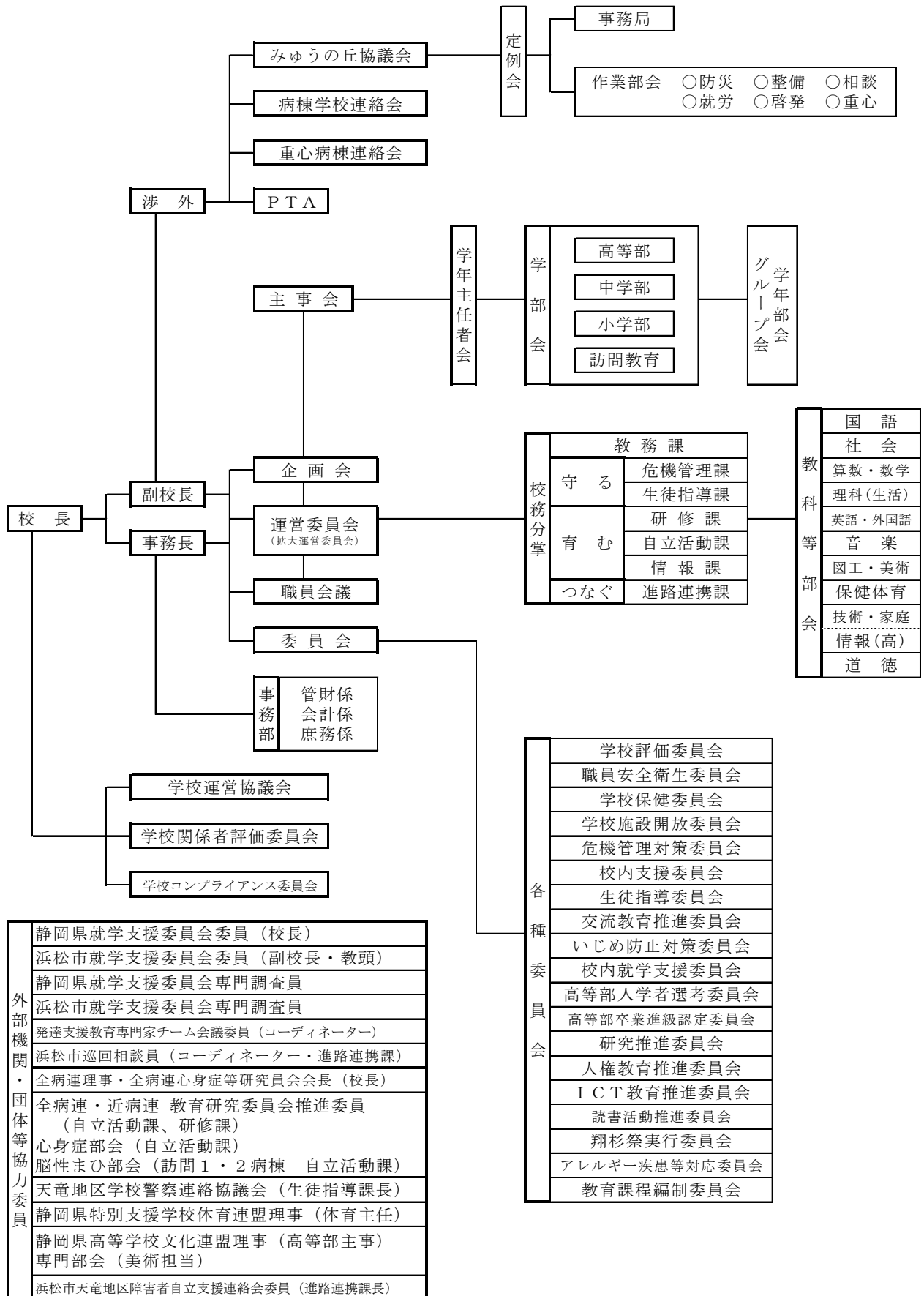
事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

昭和30年9月1日	浜名郡赤佐村立赤佐小・中学校天竜荘分校として開設
昭和31年4月10日	町村合併により浜名郡浜北町立赤佐小・中学校天竜荘分校と校名変更
昭和35年3月28日	現在地に校舎竣工
昭和36年4月1日	静岡県に移管、静岡県立養護学校天竜分校となる
昭和38年3月13日	増築校舎竣工
昭和39年4月1日	静岡県立天竜養護学校に昇格
昭和41年4月1日	非結核性病弱者入学
昭和44年3月25日	講堂、普通教室2、特別教室3竣工
昭和48年4月28日	国有地(29,441㎡)を買収
昭和48年6月10日	特別教室棟竣工
昭和50年3月25日	運動場拡張(1,560㎡)
昭和54年4月1日	訪問教育(やまゆり学級、あかいし学級、在宅)開設
昭和55年3月20日	本館(管理、普通教室棟)竣工
昭和55年4月1日	高等部開設 1学年定員10人
昭和57年3月15日	体育館竣工並びに前庭整備
昭和58年3月25日	プール並びに付属棟竣工
昭和58年3月31日	訪問教育あかいし学級閉級
昭和58年4月1日	聖隷訪問学級開設
平成2年1月26日	運動場拡張(1,048㎡)
平成6年8月25日	高等部棟竣工
平成20年4月1日	静岡県立学校設置条例の一部改正により学校名を「静岡県立天竜特別支援学校」に校名変更
平成22年3月31日	聖隷訪問学級閉級
平成25年4月1日	5病棟訪問教育開設
平成28年4月1日	校章変更

(2) 組織図



外部機関・団体等協力委員	静岡県就学支援委員会委員 (校長)
	浜松市就学支援委員会委員 (副校長・教頭)
	静岡県就学支援委員会専門調査員
	浜松市就学支援委員会専門調査員
	発達支援教育専門家チーム会議委員 (コーディネーター)
	浜松市巡回相談員 (コーディネーター・進路連携課)
	全病連理事・全病連心身症等研究会会長 (校長)
	全病連・近病連 教育研究委員会推進委員 (自立活動課、研修課)
	心身症部会 (自立活動課)
	脳性まひ部会 (訪問1・2病棟 自立活動課)
	天竜地区学校警察連絡協議会 (生徒指導課長)
	静岡県特別支援学校体育連盟理事 (体育主任)
	静岡県高等学校文化連盟理事 (高等部主事)
	専門部会 (美術担当)
	浜松市天竜地区障害者自立支援連絡会委員 (進路連携課長)

2 目指す学校像

合言葉 『みんな 笑顔で 分かち合う』

(1) 教育目標

隣接する天竜病院及び関係機関と連携し、全教職員が総がかりで

「自ら病気に向き合い、自信をもって社会参加できる人」を育てる。

《めざす児童生徒像》

- ・自分の病状を理解し、自己調整できる人 【自分の身体を知る・自己理解】
- ・自他の良さに気付き、自信がもてる人 【主体的な表出や行動・自他の良さへの気づき】
- ・周囲の人や物と関わり、より豊かに生きようとする人 【関わる力・助けを求める力】

(2) 目標具現化の柱

ア《守る》児童生徒の命を守り、心に寄り添い、人権を尊重した安全で安心な学校

イ《育む》病弱教育の専門性の向上を目指し、児童生徒の心理的な安定や確かな成長を支え、病状や特性に応じた授業ができる学校

ウ《つなげる》保護者・天竜病院・天竜厚生会・原籍校・関係機関との連携やセンター的機能を発揮し、支援・助言できる学校

エ《チーム》教職員が互いに支えあい、チーム意識を大切にした、働きやすい学校

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和4年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果○と課題・
守 る	人権に配慮した働きかけに留意すると共に、 道徳教育の推進に努める。	・人権月間や人権チェック、人権研修の内容を意識した指導や支援、実践にあたることができたと答える教職員 90%以上	事後アンケートより 100%	A	○人権教育年間計画を作成し、人権研修や教材紹介を行ったことで、LHR・各教科で研修内容を意識した人権教育を行うことができた。
		・心豊かに主体的に生きる力をはぐくむための道徳性を養うため、道徳教育全体計画に基づいて道徳教育や特別の教科道徳の指導を行うことができた教員 80%以上	学校評価より 80%	A	○外部講師を招聘して道徳教育全体研修を実施したり、教科部会、学部会で学習会を実施したりしたことで、道徳の指導に関する理解が深まった。 ・他学部の授業実践を知る機会を設定することで、より理解を深めていきたい。
	学校安全・危機管理の体制を整え様々な災害に、適切かつ迅速に対応する。	・学校再開計画について計画的に研修を行い、研修後備えと対応力が身についたと答える教職員 80%以上	学校評価より 90%	A	○安否確認研修を行ったり、図上災害訓練(DIG)を行ったりしたことで、地域の防災上の課題点を知ったり、災害時の対応力を高めたりすることができた。 ・今後は分掌ごとの防災対策班の活動訓練を行っていきたい。
		・学校安全計画、学校保健計画に基づいた防災教育・保健教育を実施できた教員 90%以上	学校評価より 80%	B	○全教職員による訓練を実施し、不審者対応マニュアルや搜索対応マニュアルの見直し・改善をし、足りない物品はすぐに購入した。 ○防災教育、保健教育の内容を学級活動・LHRの年間計画に位置付けることで、どの学部でも確実に実施できた。 ○緊急時対応訓練として外部講師を招聘し、心肺蘇生法訓練を実施できた。

					<ul style="list-style-type: none"> ・教員によって安全意識に差があるため、マニュアルに基づいた行動が取れるように、より実践的な訓練を行っていききたい。また、児童生徒への防災教育の内容をさらに充実させていききたい。
育 む	病弱教育の専門性の向上を図る。 ※個別の教育支援計画、個別の指導計画とつながった授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアステージ研修やOJTの取組により、特別支援教育の基礎・基本の理解が深まった教職員 100% 	学校評価より 64.5%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○29人があすなる研修や公開授業研究会等の校外研修会へ参加した。研修レポートを回覧し全体で学びを共有することで、授業力やICT活用力等を高めることができた。 ○OJTをしているという自覚をもっていない職員もいたが、学年や分掌などで多くのOJTの取組が見られた。
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の目標達成のために、ICT機器や教材教具等を効果的に活用した環境を設定し、指導や支援を実践した教員 100% 	学校評価より 73.4%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の実態に合った、ICT機器や教材教具等の効果的な活用方法を検討し、指導や支援を行えた。 ○一人一台端末を授業で活用することが増え、使い方の幅も広がった。 ・より効果的なICT活用のために指導や支援の方法を学ぶ機会を作っていく。さらに活用を進められるように、授業以外に職員間で使う機会を増やしていく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・整理図をもとに適切な目標と指導内容を設定し、児童生徒の成長を促す実践ができた教員 100% 	学校評価より 86.7%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○事例検討会やケース会等を通し、児童生徒のニーズに応じた適切な指導・支援のあり方を複数の視点で検討しながら実践することができた。 ・目標の見立てや具体的な指導内容の設定をより適切に行えるように、引き続き病弱教育の専門性の向上を図っていく。 ・より能率的な文書作成や記載内容の精選を図りつつ、整理図→個別の教育支援計画・個別の指導計画の繋がりを明確にして指導・支援をしていく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一授業の実施や研修会を通し、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を行った教員 90%以上 	学校評価より 90%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一授業研究や定期訪問、中心授業研究会、それらの事前・事後研修を通して、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業づくりを行うことができた。 ・「深い学び」について、さらに理解を深めていききたい。
つ な げ る	みゅうの丘や他機関との連携により、協同学習を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・みゅうの丘や外部人材、外部機関を活用した教育活動を実践した教員 100% 	学校評価より 80%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○天竜厚生会の見学や和太鼓演奏、トライアル実習等でみゅうの丘を活用することができた。食育や保健学習、進路学習、音楽（和太鼓）、園芸活動などで、外部人材を活用し、知識や経験を広げることができた。 ・今後も継続的に地域と関わる活動を実践したい。

	個別の教育支援計画に基づいた連携体制を確立する。	・個別の教育支援計画を基に、本校在籍前後の学校や他機関、保護者に支援や助言をし、連携できた教員 80%以上	学校評価より 91.1%	B	○産業現場等における実習では、プロフィールカードで生徒の実態や配慮事項等の共通理解ができた。また、個別の教育支援計画の書式を見直したことで、個別移行支援計画の作成がスムーズにできた。 ○個別の教育支援計画を作成・運用し、原籍校や病院、保護者等との連携や情報共有に役立てることができた。 ・医療機関や福祉サービス等との連携に、より活用していく。
チーム	「チーム天特」による全員参加の業務改善	・自分が設定した時刻に80%以上退勤した教職員100%	職員アンケートより 88.0%	B	○退勤時刻を毎朝確認したり、19時以降残る場合は申請制にしたりすることで、タイムマネジメントの意識が高まり、時間外在校時間が昨年より減った。
		・行事や手続き等の見直しを行ったり、提案したりした教職員 80%以上	学校評価より 57.8%	B	○コロナ禍で実施しなくなった行事等を再開する際に、目的や方法等検討し、慎重に再開するようにした。 ・学部や分掌で常に業務効率化を意識し、実施の意義や必要性を検討するようにする。
		・効率的な会議の工夫を行うことができたり、書類の簡略化や各種マニュアルを参考にしたりすることで、業務がスムーズになったと感じる教職員 80%以上	学校評価より 53.8%	B	○必要性を考えて会議を精選し、紙上開催にしたり、打合せや掲示板を活用したりして、会議時間を減らすことができた。 ○書類作成はひな型を活用したり、書類作成後のチェックシートを用意したりして、書類作成業務の負担を減らすことができた。

令和5年度の取組目標・達成方法・成果目標

取組目標		達成方法（取組手段）	成果目標
守 る	実際の危機管理体制を構築し、様々な緊急時への対応力向上を高める。	・危機管理マニュアルの周知徹底や緊急時における行動計画を理解し、防災・防犯の強化を図る。	・緊急時対応訓練や研修で、時系列に添った行動や役割を理解し、自分の動きを具体的に想定・判断できたと答える教職員 100%
		・危機管理意識向上に関する研修を通し、児童生徒、教職員の緊急時や災害時の即応能力の向上を図る。	・学校安全計画、学校保健計画に基づいた防災教育・安全教育・保健教育を実施できた教員 90%以上
	人権に配慮した働きかけに留意すると共に、いじめの予防的取り組みと組織的対応の充実を図る。	・教職員の人権感覚と実践向上のための研修会を実施する。	・人権月間や人権チェック、人権研修の内容を意識した指導や支援、実践にあたる事ができたと答える教職員 90%以上
		・自他を尊重しあう環境の維持向上を図る。	・児童生徒の人間関係や学習上・生活上の困り感の把握に努め、早期に対応したと答える教職員 100%
育 む	OJTによる学校力の向上を高める。	・キャリアステージ対応研修やOJTの取組を効果的に実施する。	・特別支援教育の基礎・基本の理解を深めたり、自ら専門性の向上に繋がる取組を実施したりした教員 100%
		・児童生徒の特性に対応できる方法で、興味関心を高めたり、理解を深めたりする授業づくりを実践する。	・授業の中で、ICT機器やデジタル教材を効果的に活用した教員 100%
	病弱教育の専門性の向上を図り、その専門性に基づく効果的な実践を行う。	・「主体的・対話的で深い学び」のある授業を実践する。	・一人一授業の実施や研修会を通し、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を行った教員 100%
		・作成した整理図と個別の指導計画とのつながりを明確にした自立活動を実践する。	・整理図をもとに適切な目標と指導内容を設定し、児童生徒の成長を促す実践ができた教員 100%
つ な げ る	みゅうの丘や地域・他機関との連携により、協同学習を充実させる。	・みゅうの丘や地域・外部機関との連携を構築し、外部人材・外部機関を活用した指導・支援の充実を図る。	・みゅうの丘や地域・外部機関の人材を活用した授業や地域の方と一緒に取組む活動を実践するなど、地域と繋がることを意識して活動できた教員 100% ・学校紹介をとおして、病弱特別支援学校に対する理解が深まったと答える参加者 80%以上 ・記事作成担当者のホームページ更新 100%
		個別の教育支援計画に基づいた連携体制を確立する。	・個別の教育支援計画に基づき、本校在籍前後の学校や他機関、保護者と連携して支援や助言を行う。

チ ー ム	「チーム天特」 による全員参 加の業務改善	・退勤時刻の自己管理をする。	・自分の設定した退勤時間を意識して業務を調整した教職員 100%
		・目的や実態に合った内容や活動計画であるかを見直すことで、業務を精選する。	・担当業務や行事の見直しを行ったり、改善したりした教職員 80%以上
		・時間設定による会議の効率化や書類のコンパクト化による業務の効率化を図る。	・効率的な会議を行ったり、書類の簡略化や各種マニュアルを参考にしたりすることで、業務がスムーズになったと感じる教職員 80%以上

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取 組 概 要	成果及び課題
令 和 4 年 度	ア 天竜病院や原籍校との連携による、発達障害をベースとした精神疾患の児童生徒に対する支援 ・原籍校へ配布している「連携スケジュール表」の評価と見直し ・朝の申し送りやカンファレンスへの参加と情報共有 ・天竜病院との日常的な連携	・「連携スケジュール表」を原籍校に配布し、追跡調査用紙でのアンケートの結果を基に今後の指導に役立てた。 ・新型コロナウイルス対策のため、Zoomを使用して病院の朝の申し送りやカンファレンスを実施し、情報共有を行った。 ・病院との連絡会議で決定した校内でのルールを職員で共有し、病院との連携がスムーズに行えるようにした。引き続き連携が必要である。
	イ 天竜病院・天竜厚生会・天竜特別支援学校の三者による「みゅうの丘」エリアの連携 ・「みゅうの丘」協議会の開催（年3回） ・各機関を利用した共同学習の開拓 ・防災訓練及び災害発生時の連携	・年間3回（7月、11月、3月）「みゅうの丘」協議会を開催した。次年度は感染症対策をしながら、各事業を再開していく方向で進めていくことを確認した。 ・新型コロナウイルス感染症対策のために、8月の「みゅうの丘見学ツアー」「天竜厚生会納涼花火大会」の中止等年間を通して活動を自粛した。
	ウ 小学部…退院後に戻った原籍校で適応できるための支援 ・原籍校に対し、児童の特性に応じた発達障害に対する支援方法について助言を行う。 ・自立活動及び生活全般で、気持ちの伝え方や不安時や興奮時の対処法の指導を行う。 ・児童の学びの特性に応じた学習支援の方法を共有する。	・原籍校に対し、授業参観や移行支援を通して児童が原籍校で適応するための支援方法を伝えた。 ・原籍校が必要としている情報や、効果的な移行支援・助言についての学習会を学部で実施した。 ・病院スタッフと連携し、児童に合った気持ちの伝え方やストレス対処法を検討し、練習の機会を設けている。 ・学びの特性に応じて児童が ICT 機器を活用できる授業づくりを行い、有効だった支援を原籍校と共有した。 ・児童の転出入の数が多く、複雑なケースもあり保護者、原籍校との電話連絡に時間を要している。効率の良い移行支援について工夫する必要がある。
	エ 中学部…生徒の病状や特性を理解し、学習環境を整え、対処行動を練習する場を設定 ・原籍校や関係機関（病院、家庭等）と継続した支援の連携 ・効率よい業務の遂行	・病棟や原籍校からの情報を基に生徒の実態を把握し、学年が中心となり学習環境や対処法を考え、生徒が様々な場面で対処法がとれるように学部内で共有した。 ・電話やメール、カンファレンスで定期的に原籍校や関係機関と情報共有したことは効果があった。また、原籍校には生徒の授業様子や学習環境、支援方法等を見てもらうために参観依頼をした。 ・年間の学部会を精選し、月に1回は生徒のあらわれを書く日を設定した。

	<p>オ 高等部…自己理解を深め、自分の生き方や働き方について考え、自己決定できる進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要な知識技能を高める天竜厚生会でのトライアル実習、産業現場等における実習 ・「私のトリセツ」の作成（自立活動） ・自他の良さへの気付きを促す協働的な学習（行事等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業現場等における実習」では、自己調整に努めたり、課題意識を高めたりした生徒の姿を確認できた。 ・個別面談や「私のトリセツ」の作成を通して自己理解を深めることができるよう生徒に働き掛けている。「産業現場等における実習」では、自己調整に努めたり、課題意識を高めたりした生徒の姿を確認できた。 ・体育大会では、チームで取り組む競技内容や運営上の生徒の役割分担を工夫して指導した。自他の良さを認め合い、協調や協力を味わう機会とすることができた。
令和5年度	<p>ア 天竜病院や原籍校との連携による、発達障害をベースとした精神疾患の児童生徒に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原籍校へ配布している「連携スケジュール表」の評価と見直し ・朝の申し送りやカンファレンスへの参加と情報共有 ・天竜病院との日常的な連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・「連携スケジュール表」を原籍校に配付し、確認をしながら丁寧に進めていく。 追跡調査用紙でのアンケートの回収と集計を行い、連携の成果と課題を把握し、今後に生かす。 ・電話、Zoomを使用して病院の朝の申し送りやカンファレンスへの参加を実施し、情報共有を行う。 ・病院との連絡会議での決定事項の周知を確実に言い、病院との連携がスムーズに行えるようにする。
	<p>イ 天竜病院・天竜厚生会・天竜特別支援学校の三者による「みゅうの丘」エリアの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みゅうの丘」協議会の開催（年3回） ・各機関を利用した共同学習の開拓 ・防災訓練及び災害発生時の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回協議会を5月15日に行った。新型コロナ対策を取りながら連携した活動が行えるように、連携の在り方を探り、できる方法で実施する予定である。 ・8月1日に「みゅうの丘見学ツアー」開催予定。地域の小学生を対象に案内チラシを配布した。 ・防災や施設設備等各作業部会ごとの連携を強化していく必要がある。
	<p>ウ 小学部…転出までの関係機関との支援の共有。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムスケジュール表に基づき、原籍校と保護者と連携した支援を行う。 ・児童の実態に合った支援に関する助言を行う。原籍校に対し、児童の特性に応じた発達障害に対する支援方法について助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原籍校が必要としている情報や、効果的な移行支援・助言について学部内で共有する学習会を実施予定である。 ・病院スタッフの意見を取り入れて実践してきた、児童に合った支援の仕方を移行支援等で伝える。 ・復帰支援や転出後に起こりうる問題を予測し、対策を練る。
	<p>エ 中学部…生徒の病状や特性を理解し、学習環境を整え、対処行動を練習する場を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原籍校や関係機関（病院、家庭等）と継続した支援の連携 ・効率よい業務の遂行 	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟や原籍校からの情報や整理図を基に、生徒の病状に応じた適切な集団や場所等環境設定の仕方を学年、学部で検討、整える。 ・復帰がスムーズにいくように、原籍校の担任や主任等と電話やオンライン等で情報共有したり参観依頼したりする。 ・学部会の内容を精選して文書作成の時間を生み出したり、2か月先の予定表を提示したりして見通しをもつことができるようにする。

<p>オ 高等部…自己理解を深め、自分の生き方や働き方について考え、自己決定できる進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要な知識技能を高める天竜厚生会でのトライアル実習、産業現場等における実習 ・「わたしのトリセツ」、キャリアパスポートの作成（自立活動） ・自他への良さへの気付きを促す協働的な学習（行事等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習をとおして、自己の長所や課題に気づき、実習経験から学んだことを日常生活に活かしたり、将来を考えたりする機会にする。 ・関係機関の講話や体験的な学習を行い、進路希望を実現するための方法や道筋を知ったり考えたりする機会を設ける。 ・生徒の自己理解や支援のニーズについての理解度や変化を捉えて支援を行う。 ・スポーツ祭や学習発表会等集団活動を通して、「相互理解」や「協力すること」の良さを体感できるような支援を行う。
---	---

5 教職員について

(1) 異動状況

区分	職名	本務職員										本務計	臨時職員等					合計
		教育職員					行政職員						教諭	臨時事務職員	非常勤養護教諭	非常勤労務職員	臨時計	
		校長	副校長	教諭	養護教諭	小計	事務長	主査	主任	主事	主任技能員							
転出者	0	1	9	0	10	1	1	0	0	0	2	12	0	0	0	0	0	12
退職者	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	6	1	1	2	10	12
再任用(退職)	0	0	2	0	2	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	3
転入者	1	1	9	0	11	1	1	0	0	0	2	13	0	0	0	0	0	13
新任者	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	4	0	1	2	7	9
再任用(新任)	0	0	2	0	2	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	3
差引増減	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	-2	-1	0	0	-3	-2

(2) 現員数

(令和5年5月31日現在)

区分	職名	本務職員										本務計	臨時職員等					合計
		教育職員					行政職員						教諭	臨時事務職員	非常勤養護教諭	非常勤労務職員	臨時計	
		校長	副校長	教諭	養護教諭	小計	事務長	主査	主任	主事	主任技能員							
男	1	0	14	0	15	0	0	1	0	1	2	17	1	0	0	1	2	19
女	0	1	27	1	29	1	1	0	1	0	3	32	3	0	1	1	5	37
計	1	1	41	1	44	1	1	1	1	1	5	49	4	0	1	2	7	56

*再任用教諭 フルタイム 2人、再任用技能員 フルタイム 1人

(3) 健康管理について

年度	取 組 内 容
令和4年度	<p>教職員の身体的、精神的な健康の維持増進を図るため具体的方策を考える。</p> <p>ア 定期健康診断（結核検診、生活習慣病健診、婦人科検診）をはじめ、人間ドック、脳ドック、指定年齢健診の受診を勧め、全員実施し、疾病の早期発見に努めた。再検査が必要なすべての職員が再検査を行うよう働き掛けた。</p> <p>イ 教育厚生課による腰痛健康診断・情報機器作業従事者健康診断を実施し、教職員の健康保持増進を図った。</p> <p>ウ 職員安全衛生委員会を月1回開催し、健康管理医の指導を受け安全衛生に関する意識の高揚を図る。健康管理医との意見交換や、不安なこと、疑問に思っていることを質問したりする時間を設けている。職場の健康づくり支援事業の活用について、感染予防に努めながら10月末にヨガ講座を実施した。</p> <p>エ 週1回の定時退庁日を設け、定時退庁を呼びかけ、心身の健康管理に注意を払った。完全施錠目標を19時とし、19時を過ぎる場合は申請簿に記入後、各学部主事に申請するようにした。</p> <p>オ 新型コロナウイルス感染症対策として、毎日の健康管理表の実施や消毒・換気の徹底、職員会議での注意喚起に努めた。</p>
令和5年度	<p>教職員の身体的、精神的な健康の維持増進を図るため具体的方策を考える。</p> <p>ア 定期健康診断（結核検診、生活習慣病健診、婦人科検診）をはじめ、人間ドック、脳ドック、指定年齢健診の受診を勧め、全員実施し、疾病の早期発見に努める。再検査が必要なすべての職員が再検査を行うよう働きかける。</p> <p>イ 教育厚生課による腰痛健康診断・情報機器作業従事者健康診断を実施し、教職員の健康保持増進を図る。</p> <p>ウ 職員安全衛生委員会を月1回開催し、健康管理医の指導を受け安全衛生に関する意識の高揚を図る。健康管理医との意見交換や、不安なこと、疑問に思っていることを質問したりする時間を設けている。職場の健康づくり支援事業の活用について、感染予防に努めながら10月末に実施を予定している。（教職員のニーズに合う講座）</p> <p>エ 週1回の定時退庁日を設け、定時退庁を呼びかけ、心身の健康管理に注意を払う。完全施錠目標を19時とし、19時を過ぎる場合は各学部主事に申請をしている。年2回学部評価等でアンケートをとり、働き方の改善に努めていく。</p> <p>オ 感染症対策として、手洗い・換気等基本的な感染対策、意識した自己管理について呼び掛けを継続的に行う。</p> <p>カ 休養室を整備し、職場環境の改善及び教職員の健康管理に努める。</p>

(4) 教職員の研修について

年度	研修目的・内容	成果及び課題
令和4年度	<p>ア 校内研修…「学習を通して児童生徒の自信を育てる～授業設計シートを活用した授業改善～」をテーマに、授業力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業設計シートを用いて授業構想を行い、一人一授業研、事後研修による授業改善を行う。 ・ICTを活用した授業づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回全体研修（5月）で全体計画及び各部の研修について確認・共有した。 ・授業改善に生かす研修を計画的に実施し、児童生徒が主体的に学習する姿を引き出す授業改善が実施できた。深い学びにつながる授業づくりについては、今後もさらに研修が必要である。 ・ICT活用研修を校内で複数回開催した。実態やニーズに応じた希望研修も開催した。
	<p>イ 自立活動研修…病弱教育の専門性の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理図をもとに適切な目標と指導内容の設定を行い、個別の指導計画を作成する。 ・外部講師や校内講師による病弱教育専門研修を行う。 ・学部ごとに事例検討会を行い、個々のニーズに応じた、ICT機器、教材教具等の効果的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動全体研修（5月27日）を実施し、児童生徒理解や病弱教育に関する理解を深めた。 ・各学部で自立活動に関する学習会を実施した。（4月） ・各学部で児童生徒の実態に応じた内容を設定し、医療や病弱教育に携わっている外部講師の招聘や校内講師による研修を実施予定である。 ・各学部で、適宜、事例検討会を実施し、指導内容や教材教具の活用について検討予定である。
令和5年度	<p>ア 校内研修…「『主体的・対話的で深い学び』の視点での授業づくり」をテーマに、授業力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業設計シートを用いて授業構想を行い、一人一授業研、事後研修による授業改善を行う。 ・ICTを活用した授業づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一授業研究を実施し、授業者・参観者相互に学んだことを授業改善に生かしていく。 ・助言者を招聘した研修を実施することで、専門力向上を図る機会を設ける。 ・教科部会等で授業設計シートを用いて、授業づくりの検討を行う。 ・研修課と情報課で連携し、ICT活用が進む研修や実践例紹介など行う。
	<p>イ 自立活動研修…病弱教育の専門性の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理図をもとに適切な目標と指導内容の設定を行い、個別の指導計画を作成する。 ・外部講師や校内講師による病弱教育専門研修を行う。 ・学部ごとに事例検討会を行い、個々のニーズに応じた、ICT機器、教材教具等の効果的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動全体研修（6月）を実施し、児童生徒理解や病弱教育に関する理解を深めた。 ・自立活動課と教務課で連携し、整理図や個別の指導計画の捉え方や作成についての説明会を実施した。（4月） ・各学部で児童生徒の実態に応じた内容を設定し、医療や病弱教育に携わっている外部講師の招聘や校内講師による研修を実施予定である。今年度新たにOT訪問指導（年3回実施予定） ・各学部で、適宜、自立活動学習会、事例検討会を実施し、指導内容や教材教具の活用について検討予定である。

6 防災対策について

年度	取組内容	成果及び課題																									
令和4年度	<p>(1) 地震及び火災対策</p> <p>ア 防災訓練 年4回を計画</p> <table border="1" data-bbox="296 320 786 757"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月21日</td> <td>地震想定（避難方法・経路の確認）</td> </tr> <tr> <td>8月29日</td> <td>地震想定（引渡し訓練）</td> </tr> <tr> <td>11月25日</td> <td>地震・土砂災害想定（小中学部は起震車による地震体験、高等部生徒は天竜厚生会施設への避難訓練）</td> </tr> <tr> <td>2月16日</td> <td>地震・火災想定</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 職員対象訓練</p> <table border="1" data-bbox="296 801 786 1323"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月6日</td> <td>救急対応訓練（事故発生時の対応）</td> </tr> <tr> <td>4月22日</td> <td>緊急連絡訓練（COCCOメール）</td> </tr> <tr> <td>5月25日</td> <td>防災研修（安否確認）</td> </tr> <tr> <td>6月1日</td> <td rowspan="2">心肺蘇生法・AEDの扱い方講習</td> </tr> <tr> <td>8月25日</td> </tr> <tr> <td>7月25日</td> <td>防災研修会</td> </tr> <tr> <td>11月上旬</td> <td>天竜厚生会の防災訓練への参加</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	内容	4月21日	地震想定（避難方法・経路の確認）	8月29日	地震想定（引渡し訓練）	11月25日	地震・土砂災害想定（小中学部は起震車による地震体験、高等部生徒は天竜厚生会施設への避難訓練）	2月16日	地震・火災想定	実施日	内容	4月6日	救急対応訓練（事故発生時の対応）	4月22日	緊急連絡訓練（COCCOメール）	5月25日	防災研修（安否確認）	6月1日	心肺蘇生法・AEDの扱い方講習	8月25日	7月25日	防災研修会	11月上旬	天竜厚生会の防災訓練への参加	<ul style="list-style-type: none"> 4月21日の防災訓練では、避難方法のほか、渡り廊下など危険な箇所を回避して避難することを確認した。 職員対象訓練の救急対応訓練では、具体的な事例をあげて、緊急時の記録用紙への記入を行った。いざという時に大切な情報であること、記入の仕方について周知できた。 緊急連絡訓練では、昨年度から導入された連絡システムによるテストメールを行い、教職員、保護者への受信状況を確認することができた。 5月25日の安否確認は、担当地区に分かれて研修を行い、担当地区の確認、生徒の自宅と避難地までの経路について確認できた。 6月と8月に2グループに分かれ、日本赤十字社静岡支部に講師を招聘して、心肺蘇生法・AEDの講習会を行い、技術と知識を確認できた。 7月25日には、静岡県西部地域局危機管理課に講師を招聘し、図上災害訓練（DIG）や災害対策班ごとの任務の確認を行った。災害を想定し、事前対策について確認した。 11月25日の避難訓練では、小中学部は起震車体験、高等部は天竜厚生会への避難体験を行った。 2月16日の避難訓練は、小規模地震時と想定した対応の仕方を確認した。また、火災発生を想定し避難経路を確認した。
	実施日	内容																									
	4月21日	地震想定（避難方法・経路の確認）																									
	8月29日	地震想定（引渡し訓練）																									
	11月25日	地震・土砂災害想定（小中学部は起震車による地震体験、高等部生徒は天竜厚生会施設への避難訓練）																									
	2月16日	地震・火災想定																									
	実施日	内容																									
	4月6日	救急対応訓練（事故発生時の対応）																									
	4月22日	緊急連絡訓練（COCCOメール）																									
	5月25日	防災研修（安否確認）																									
6月1日	心肺蘇生法・AEDの扱い方講習																										
8月25日																											
7月25日	防災研修会																										
11月上旬	天竜厚生会の防災訓練への参加																										
<p>(2) 荒天時対策</p> <p>各種警報が発令された場合の対応を決め、保護者に周知する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に各種警報が発令されたときの対応についての文書を4月に配付し、ホームページに掲載した。PTA総会においても説明した。 																										
<p>(3) 不審者対策</p> <p>6月30日 不審者対応訓練（児童・生徒、職員）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 天竜警察署の職員2人を講師に招聘し、全職員を対象として不審者対応訓練を行う。警察署員に不審者を演じてもらい、実際の場面を想定して行い、ビデオ撮影を見て振り返りを行う予定である。 																										

令和5年度	(1) 地震及び火災対策等危機管理対応 ア 防災訓練 年4回を計画	<table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>内 容</th> </tr> <tr> <td>4月26日</td> <td>地震想定（避難方法・経路の確認）</td> </tr> <tr> <td>8月29日</td> <td>地震想定（引渡し訓練）</td> </tr> <tr> <td>11月1日</td> <td>地震想定 （小中学部は起震車による地震体験、高等部生徒は天竜厚生会施設への避難訓練）</td> </tr> <tr> <td>1月12日</td> <td>火災想定</td> </tr> </table>	実施日	内 容	4月26日	地震想定（避難方法・経路の確認）	8月29日	地震想定（引渡し訓練）	11月1日	地震想定 （小中学部は起震車による地震体験、高等部生徒は天竜厚生会施設への避難訓練）	1月12日	火災想定	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに危機管理マニュアルを全職員で確認した。 ・4月26日の防災訓練では、避難方法のほか、本校東側付近など危険な箇所を回避して避難することができた。 ・5月11日の安否確認は、担当地区に分かれて研修を行い、担当地区の確認、生徒の自宅と避難地の所在地や周辺の情報にまた、災害対策班ごとの任務を確認した。 ・6月23日に天竜消防署から講師を招聘して、心肺蘇生法・AEDの講習会を行い、技術と知識を確認した。 ・7月25日には、静岡県西部地域局危機管理課に講師を招聘し、避難所運営ゲームを行い、様々な出来事への対応について疑似体験する。 ・11月9日の避難訓練では、小中学部は起震車体験、高等部は天竜厚生会への避難体験を行う。 ・2月16日の避難訓練は、火災発生を想定して行う予定である。 ・緊急時対応訓練を学部ごと実施予定。熱中症等具体的な事例を想定し、状況に応じた対応、教職員の連携について確認し、意識の向上を図った。 			
	実施日	内 容														
	4月26日	地震想定（避難方法・経路の確認）														
	8月29日	地震想定（引渡し訓練）														
	11月1日	地震想定 （小中学部は起震車による地震体験、高等部生徒は天竜厚生会施設への避難訓練）														
	1月12日	火災想定														
		イ 職員対象訓練	<table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>内 容</th> </tr> <tr> <td>5月11日</td> <td>防災研修（安否確認）</td> </tr> <tr> <td>6月23日</td> <td>心肺蘇生法・AEDの扱い方講習</td> </tr> <tr> <td>5月15日 6月20日 8月下旬</td> <td>緊急時対応訓練</td> </tr> <tr> <td>7月25日</td> <td>防災研修会</td> </tr> <tr> <td>11月上旬</td> <td>天竜厚生会の防災訓練への参加</td> </tr> </table>	実施日	内 容	5月11日	防災研修（安否確認）	6月23日	心肺蘇生法・AEDの扱い方講習	5月15日 6月20日 8月下旬	緊急時対応訓練	7月25日	防災研修会	11月上旬	天竜厚生会の防災訓練への参加	
	実施日	内 容														
	5月11日	防災研修（安否確認）														
	6月23日	心肺蘇生法・AEDの扱い方講習														
5月15日 6月20日 8月下旬	緊急時対応訓練															
7月25日	防災研修会															
11月上旬	天竜厚生会の防災訓練への参加															
	(2) 荒天時対策 各種警報が発令された場合の対応を決め、保護者に周知する。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に各種警報が発令されたときの対応についての文書を4月に配付し、ホームページに掲載した。PTA総会においても説明した。 														
	(3) 不審者対策 6月30日 不審者対応訓練 （児童・生徒、職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・天竜警察署の職員2人を講師に招聘し、全職員を対象として不審者対応訓練を行う。警察署員に不審者を演じてもらい、実際の場面を想定して行い、ビデオ撮影を見て振り返りを行う予定である。 														

7 学校開放について

(令和5年5月31日現在)

年度	施設名	種目等	利用回数	利用者数 (延べ人数)	利用者負担金 (電気料金)
4年度			0回	0人	0円
5年度			0回	0人	0円

事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、 第74条、第75条、第76条、第77条、第80条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学指導委員会規則 特別支援学校の高等部の学科を定める省令 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領 小学校学習指導要領 中学校学習指導要領 高等学校学習指導要領
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第80条、第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第4条、第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第1条～第4条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費 補助金交付要綱 要保護及準要保護児童生徒援助費補助金及び特殊教育就学奨 励費補助金交付要綱 いじめ防止対策推進法

□□□□□□

学校施設の概要

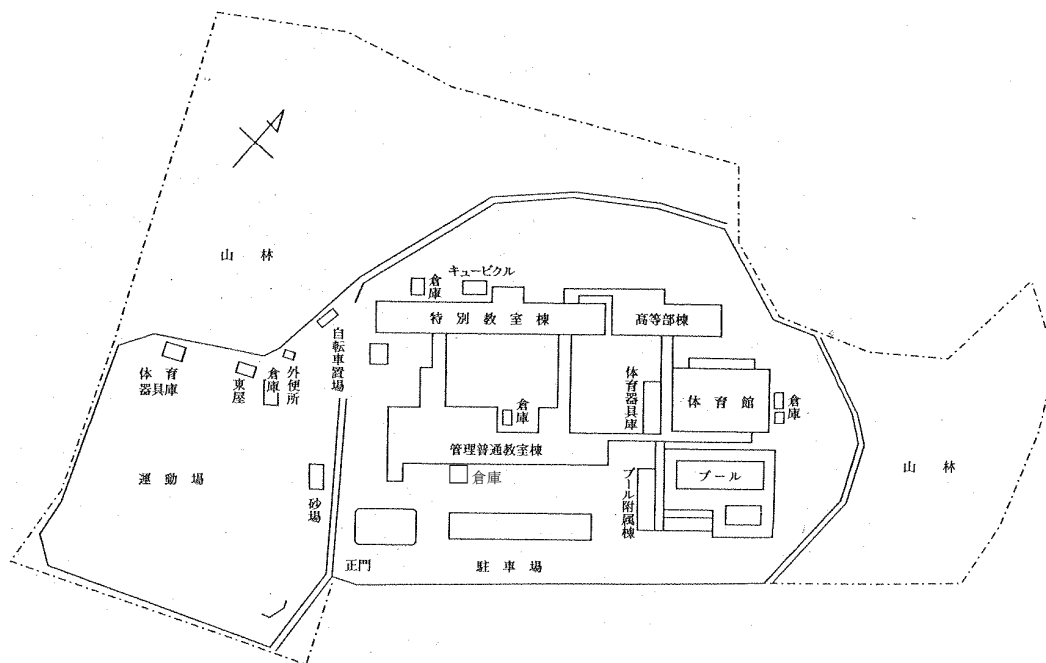
1 面積及び所有区分

(令和5年5月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	29,441.02	29,441.02					
内 訳	校舎敷地	7,800.00	7,800.00				
	運動場敷地	4,375.43	4,375.43				
	その他の敷地	17,265.59	17,265.59				
校 舎	<u>建 1,934.70</u> <u>延 4,083.89</u>	<u>建 1,934.70</u> <u>延 4,083.89</u>					
体 育 館	<u>建 621.81</u> <u>延 500.25</u>	<u>建 621.81</u> <u>延 500.25</u>					
その他の建物	<u>建 189.40</u> <u>延 189.40</u>	<u>建 189.40</u> <u>延 189.40</u>					
プ ー ル	250.00	250.00					大 25m×8m 小 10m×5m

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	29,441.02㎡	4,083.89㎡	4,375.43㎡
県平均	18,814.78㎡	6,914.52㎡	5,244.39㎡

在 籍 生 徒 調

(令和5年5月31日現在)

学 年	学部別 区分		小 学 部			中 学 部			高 等 部			
			男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1 年	入 学 者		1	0	1	1	0	1	12	8	3	11
		増 加	0	0	0	2	0	2		0(1)	0	0(1)
		減 少	0	0	0	1	0	1		0	0	0
	現 在		1	0	1	2	0	2		9	3	12
2 年	入 学 者		1	0	1	0	0	0		18	9	4
		増 加	2	0	2	5	6	11		0(1)	0	0(1)
		減 少	1	0	1	4	5	9		1(1)	0	1(1)
	2年時当初		2	0	2	1	1	2		8	4	12
		増 加	1	0	1	2	3	5		0	0	0
		減 少	0	0	0	0	1	1		0	0	0
	現 在		3	0	3	3	3	6		8	4	12
3 年	入 学 者		2	0	2	2	1	3		12	9	0
		増 加	3	1	4	8	7	15		0(2)	0	0(2)
		減 少	2	0	2	8	5	13		1(3)	0	1(3)
	2年時当初		3	1	4	2	3	5		7	0	7
		増 加	12	2	14	5	10	15		0	0	0
		減 少	11	2	13	5	12	17		0	0	0
	3年時当初		4	1	5	2	1	3		7	0	7
		増 加	0	0	0	2	4	6		0	0	0
		減 少	1	0	1	0	0	0		0	0	0
	現 在		3	1	4	4	5	9		7	0	7
4 年	入 学 者		0	0	0							
		増 加	1	1	2							
		減 少	0	0	0							
	2年時当初		1	1	2							
		増 加	5	1	6							
		減 少	4	2	6							
	3年時当初		2	0	2							
		増 加	8	2	10							
		減 少	7	1	8							
	4年時当初		3	1	4							
		増 加	3	1	4							
		減 少	3	0	3							
	現 在		3	2	5							

学年	学部別 区分	小学部			中学部			高等部				
		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	
5 年	入学者	0	2	2								
	増加	1	0	1								
	減少	0	0	0								
	2年時当初	1	2	3								
	増加	6	1	7								
	減少	5	1	6								
	3年時当初	2	2	4								
	増加	6	3	9								
	減少	6	1	7								
	4年時当初	2	4	6								
	増加	6	1	7								
	減少	5	3	8								
	5年時当初	3	2	5								
	増加	1	1	2								
	減少	2	0	2								
	現在	2	3	5								
	6 年	入学者	1	0	1							
		増加	1	0	1							
減少		0	0	0								
2年時当初		2	0	2								
増加		5	1	6								
減少		2	1	3								
3年時当初		5	0	5								
増加		5	2	7								
減少		8	1	9								
4年時当初		2	1	3								
増加		9	3	12								
減少		5	2	7								
5年時当初		6	2	8								
増加		9	3	12								
減少		10	3	13								
6年時当初		5	2	7								
増加		1	0	1								
減少		2	1	3								
現在	4	1	5									
合計		16	7	23	9	8	17		24	7	31	

□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
学 科 別		小	中	高	小	小	高	小	中	高	小	中	高	小	中	高
生徒定員(A)				24			21			12			18			12
募集者数(B)				24			21			12			18			12
志願者数	男			10(0)			7(0)			9(0)			9(0)			8(0)
	女			5(0)			4(0)			0(0)			4(0)			3(0)
	計(C)			15(0)			11(0)			9(0)			13(0)			11(0)
受検者数	男			10(0)			7(0)			9(0)			9(0)			8(0)
	女			5(0)			4(0)			0(0)			4(0)			3(0)
	計(D)			15(0)			11(0)			9(0)			13(0)			11(0)
合格者数	男			10(0)			7(0)			9(0)			9(0)			8(0)
	女			5(0)			4(0)			0(0)			4(0)			3(0)
	計(E)			15(0)			11(0)			9(0)			13(0)			11(0)
志願倍率(C)/(B)		0.63			0.52			0.75			0.72			0.92		
受検倍率(D)/(B)		0.63			0.52			0.75			0.72			0.92		
入学者数	男	0	0	10	0	0	7	2	2	9	1	0	9	1	0	8
	女	2	1	5	0	1	4	0	1	0	0	0	4	0	0	3
	計(F)	2	1	15	0	1	11	2	3	9	1	0	13	1	0	11
充足率(F)/(A)		0.63			0.52			0.75			0.72			0.92		

□□□□□□

卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
高等学校 (本科)	全日制	0			0
	定時制	0			0
	通信制	0			0
特別支援学校高等部		1			1
その他高等学校等		0			0
大学等	大学(学部)		1	0	1
	短期大学(本科)		0	0	0
	大学・短大の通信教育学部等		0	0	0
	その他大学等		0	0	0
特別支援学校高等部専攻科			0	0	0
専修学校(専門課程)		0	1	0	1
専修学校(一般課程)・各種学校		0	0	0	0
公共職業能力開発施設等		0	0	0	0
就 職		0	2	0	2
上 記 以 外 ※		0	5	0	5
不 詳 ・ 死 亡		0	0	0	0
計 (卒業生総数)		1	9	0	10

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
児童福祉施設		0	0	0	0
障害者支援施設		0	4	0	4
(うち就労系支援事業利用者)		(0)	(2)	(0)	(2)
医療機関		0	0	0	0
計		0	4	0	4

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和5年5月31日現在) (単位:人)

市町名	浜松市	磐田市	袋井市	掛川市	その他の市	県外	合計
生徒数	55	4	1	3	4	4	71
構成比%	77.5%	5.6%	1.4%	4.3%	5.6%	5.6%	100%

(2) 通学方法 (令和5年5月31日現在) (単位:人)

区分	徒歩	交通機関	送迎	自転車	その他(訪問)	合計
生徒数	24	27	2	0	18	71
構成比%	33.8%	38.0%	2.8%	0%	25.4%	100%

(3) 訪問教育の状況 (令和5年5月31日現在) (単位:人)

訪問教員等			市町	浜松市(天竜病院)
小・中学部	教諭	5	小学部	10
	講師	1	中学部	6
高等部	教諭	1	高等部	2
	講師	0		
計		7	計	18

2 部(クラブ)の加入状況

(令和5年5月31日現在) (単位:人)

区分	中学部				高等部			
	運動部	文化部	未加入者	計	運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数	1	3	/	4	1	3	/	4
男子	1年							
	2年							
	3年							
	計(A)							
	構成比							
女子	1年							
	2年							
	3年							
	計(B)							
	構成比							
合計	(A+B)							
	構成比							

3 障害別児童生徒数 (令和5年5月31日現在) (単位:人)

区 分		1年 (2歳)	2年 (3歳)	3年 (4歳)	4年 (5歳)	5年	6年	合 計	学級数
小学部	単一障害	0	2	1	4	3	4	14	7
	重複障害	0	0	0	0	0	1	1	1
	肢体重複	1	1	3	0	2	1	8	2
	合 計	1	3	4	4	5	6	23	10
中学部	単一障害	1	6	5				12	4
	重複障害	1	0	1				2	1
	肢体重複	0	0	3				3	2
	合 計	2	6	9				17	7
高等部	単一障害	11	12	6				29	4
	重複障害	0	0	0				0	0
	肢体重複	1	0	1				2	1
	合 計	12	12	7				31	5

4 起因疾患別児童生徒数

(令和5年5月31日現在) (単位:人)

区 分	統合失調症 うつ病	その他の 精神疾患	重度重複 障害	その他	計
小学部	0	12	1	0	13
中学部	1	8	2	0	11
高等部	0	29	0	0	29
訪 問	2	3	13	0	18
計	3	52	16	0	71

職 員 調

(令和5年5月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	湯本健治	総括		年月	
2	副校長	寺田有美子	総括補助		年月	
3	事務長	大場治子	事務総括		年月	
4	教諭	小楠賢明	小学部		年月	
5	教諭	小林高志	社会		年月	
6	教諭	鈴木美江	保健体育		年月	
7	教諭	甲斐憲子	家庭		年月	
8	教諭	須田博美	家庭		年月	
9	教諭	小林直子	音楽		年月	
10	教諭	権田典道	理科		年月	
11	教諭	鈴木洋子	小学部		年月	
12	教諭	宮本美幸	訪問		年月	
13	教諭	金子将哉	英語		年月	
14	教諭	前田有俊	小学部		年月	
15	教諭	棚木孝浩	美術		年月	
16	教諭	永井みどり	小学部		年月	
17	教諭	仲村桃子	小学部		年月	
18	教諭	瀬戸真理	英語		年月	
19	教諭	庵友也	小学部		年月	
20	教諭	近藤明仁	保健体育		年月	
21	教諭	牧内朋子	訪問		年月	
22	教諭	富岡孝宏	数学		年月	
23	教諭	山内千尋	訪問		年月	
24	教諭	長田春奈	訪問		年月	
25	教諭	落合将之	小学部		年月	
26	教諭	松本笑	保健体育		年月	
27	教諭	河合麻紀子	訪問		年月	
28	教諭	鶴見唯	社会		年月	
29	教諭	山本有美	英語		年月	
30	教諭	鈴木勇亮	小学部		年月	
31	教諭	相曾愛美	小学部		年月	
32	教諭	袴田哲靖	情報		年月	
33	教諭	岩下直子	数学		年月	
34	教諭	長野蓉子	数学		年月	
35	教諭	川村美奈子	社会		年月	

36	教諭	川井史	小学部		年月	
37	教諭	柴田早紀	小学部		年月	
38	教諭	笹木美咲	訪問		年月	
39	教諭	石原美佳	国語		年月	
40	教諭	佐野紗智子	小学部		年月	
41	教諭	榎本なほ子	国語		年月	
42	教諭	小高舞子	数学		年月	
43	教諭	内野夏雄	訪問		年月	
44	教諭	池谷秀樹	英語		年月	
45	教諭(任)	鈴木晶子	理科		年月	
46	教諭(任)	大栗充代	小学部		年月	
47	教諭(任)	森貴史	国語		年月	
48	養護教諭	池田亜希子	養護		年月	
49	主査	山本桂子	庶務		年月	
50	主任	原野紘一	管財		年月	
51	主事	金田伊代	会計		年月	
52	主任技能員	小澤勝彦	用務		年月	
平均年数					2年5月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(臨)	山内弓子	訪問		年月	
2	会計年度任用職員	安中智恵美	養護		年月	
3	会計年度任用職員	塩崎良雄	用務		年月	
4	会計年度任用職員	國分あかね	用務		年月	
5	学校医	豊田敦	内科		年月	
6	学校医	清水敏也	耳鼻科		年月	
7	学校医	鈴木真貴子	眼科		年月	
8	学校医	山村淳一	精神科		年月	
9	学校歯科医	大城清孝	歯科		年月	
10	学校薬剤師	伊藤隆康	薬剤		年月	
11	健康管理医	太田邦明	内科		年月	

□□□□□□

職員の年齢調

(令和5年5月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	4	
30歳以上40歳未満	14	
40歳以上50歳未満	18	
50歳以上56歳未満	8	
56歳以上61歳未満	5	
61歳以上	3	再任用職員3人
計	52	平均年齢 44歳1月

健康管理

1 4年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 49人 職員数 50人
受 診 率	98.0%
県平均受診率	100.0%

(1) 未受診の理由
育休 1人

2 5年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	7(7)人
D 2		要経過観察	4(4)人
D 3		医 療 不 要	38(38)人
区 分 者 計			49人
未区分者数			3人
合 計			52人

(1) 管理区分 A ~ C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由
ア 産休・育休 1人
イ 新規採用 2人
ウ 自己都合による未受診 0人
エ その他 () 0人

預 金 調

(令和5年5月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
静岡銀行西鹿島支店	無利息型 普通預金	0328444	静岡県立天竜特別支援学校 資金前渡者 湯本健治	0	給料
静岡銀行西鹿島支店	無利息型 普通預金	0328455	(自振口)静岡県立天竜特別支援 学校 資金前渡者 湯本健治	0	電話料、 後納郵便料、 社会保険料
静岡銀行西鹿島支店	普通預金	0073224	天竜特別支援学校就学奨励費 代理受領者 湯本健治	0	就学奨励費
残 高 合 計				0	

郵券等受払調

(令和5年5月31日現在)

(単位：枚、円)

区分	種類	4年度						5年度						摘要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	1円券	118	118	0	0	6	6	112	112	0	0	0	0	112	112	通信用
"	10円券	52	520	0	0	32	320	20	200	0	0	0	0	20	200	"
"	84円券	22	1,848	200	16,800	162	13,608	60	5,040	0	0	38	3,192	22	1,848	"
"	120円券	2	240	100	12,000	29	3,480	73	8,760	0	0	0	0	73	8,760	"
"	124円葉書	2	248	0	0	0	0	2	248	0	0	0	0	2	248	"
計			2,974		28,800		17,414		14,360		0		3,192		11,168	"
タクシーチケット	スタータクシー	13		0		0		13		0		0		13		児童生徒校外行事引率用等
計		13		0		0		13		0		0		13		

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					3年度	4年度	左のうち、3年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	1,203,840	1,463,880	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	1,343,430	1,240,360	0
計					2,547,270	2,704,240	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	644,600	0	0
計					644,600	0	0
(16) 公有財産購入費					0	0	0
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	1,272,480	0	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	1,471,360	1,415,150	0
計					2,743,840	1,415,150	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	123,400	136,960	0
計					123,400	136,960	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0	0
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年5月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、4年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	0	0
計					0	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	0	0
計					0	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和4年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	浄化槽保守点検業務	(株)ハマエイ	円 26,400	円 26,400		円 26,400	随契	4.4.1 ~ 5.3.31	5.4.27	円 26,400	浄化槽の保守点検業務	随契1号(少額)
2	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)	1,863,840	1,863,840		1,863,840	一般	4.4.1 ~ 5.3.31	4.10.28 5.4.28	931,920 931,920	電気工作物に対する保安上の点検業務	
									小計	1,863,840		
3	ガスヒートポンプ保守点検業務	フジテック(株)	649,000	627,000		627,000	随契	4.6.1 ~ 5.3.31	5.4.24	627,000	ガスヒートポンプの保守点検業務	随契1号(少額)
4	産業廃棄物収集運搬処分業務	サンワ環境整備(株)	産業廃棄物収集運搬料 8㎡コンテナ 1車 5,500 処分料 1台 88,000	産業廃棄物収集運搬料 8㎡コンテナ 1車 5,500 処分料 1台 88,000		産業廃棄物収集運搬料 8㎡コンテナ 1車 5,500 処分料 1台 88,000	随契	4.6.27 ~ 4.10.31	4.10.5	93,500	産業廃棄物の収集運搬及び処分	随契1号(少額)
5	産業廃棄物収集運搬処分業務	サンワ環境整備(株)	産業廃棄物収集運搬料 8㎡コンテナ 1車 5,500 処分料 1台 88,000	産業廃棄物収集運搬料 8㎡コンテナ 1車 5,500 処分料 1台 88,000		産業廃棄物収集運搬料 8㎡コンテナ 1車 5,500 処分料 1台 88,000	随契	5.1.6 ~ 5.3.17	5.2.28	93,500	産業廃棄物の収集運搬及び処分	随契1号(少額)
	合計	5件								2,704,240		
参考1	警備業務	セコム(株)		円 4,389,000		円 4,389,000		元.10.1 ~ 6.9.30			校長室、事務室、職員室、パソコン室、理科準備室、保健室の機械警備業務	天竜高校
参考2	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		18,920,000	317	18,920,317		4.4.1 ~ 5.3.31			消火器、自火報、消火設備、非常放送、自家発電等の点検業務	浜松湖北高校
参考3	可燃物収集運搬処分業務	(株)リサイクルクリーン		収集運搬料 天竜高校・天竜特支 1回2,200 天竜高校春野校舎・浜松湖北高校 佐久間分校 1回6,600 処分手数料 1kg14.3		収集運搬料 天竜高校・天竜特支 1回2,200 天竜高校春野校舎・浜松湖北高校 佐久間分校 1回6,600 処分手数料 1kg14.3		4.4.1 ~ 5.3.31			可燃ごみの収集運搬及び処分業務 天竜高校 週2回 天竜高校春野校舎・浜松湖北高校 佐久間分校 週1回 天竜特支 月2回	天竜高校
参考4	プール浄化装置保守点検業務	清化工業(株)		998,800		998,800		4.4.8 ~ 4.11.30			プール浄化装置の点検業務	浜松東高校
参考5	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	(株)河合晴夫一級建築士事務所		2,695,000		2,695,000		4.10.11 ~ 5.1.31			建築基準法第12条に基づく定期点検業務	遠江総合高校
	計	5件										

委託料に関する調

(令和5年度)
(令和5年5月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	浄化槽保守点検業務	(株)ハマエイ	円 26,400	円 26,400	円	円 26,400	随契	5.4.1 ~ 6.3.31		円 0	浄化槽の保守点検業務	随契1号(少額)
2	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)	2,052,600	1,953,600		1,953,600	一般	5.4.1 ~ 6.3.31		0	電気工作物に対する保安上の点検業務	
	合計	2件								0		
参考1	警備業務	セコム(株)		円 4,389,000	円	円 4,389,000		元.10.1 ~ 6.9.30			校長室、事務室、職員室、パソコン室、理科準備室、保健室の機械警備業務	天竜高校
参考2	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		19,030,000		19,030,000		5.4.1 ~ 6.3.31			消火器、自火報、消火設備、非常放送、自家発電等の点検業務	浜松湖北高校
参考3	可燃物収集運搬処分業務	(株)リサイクルクリーン		運搬料 天竜高校・天竜特支 1回2,200 天竜高校春野校舎・浜松湖北高校 佐久間分校 1回6,600 処分料 1kg14.3		運搬料 天竜高校・天竜特支 1回2,200 天竜高校春野校舎・浜松湖北高校 佐久間分校 1回6,600 処分料 1kg14.3		5.4.5 ~ 6.3.31			可燃ごみの収集運搬及び処分業務 天竜高校 週2回 天竜高校春野校舎・浜松湖北高校 佐久間分校 週1回 天竜特支 月2回	天竜高校
参考4	プール浄化装置保守点検業務	清化工業(株)		998,800		998,800		5.4.10 ~ 5.11.30			プール浄化装置の点検業務	浜松東高校
	計	4件										

負担金支出調

(令和4年度)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	天竜病院総合汚水処理施設使用料負担金	独立行政法人国立病院機構天竜病院	総合汚水処理施設の利用に関する覚書による	総合汚水処理施設維持管理	円	
					8,080	4.6.6
					8,080	4.6.30
					8,080	4.8.15
					8,080	4.9.1
					8,080	4.10.4
					8,080	4.11.2
					8,080	4.12.2
					8,080	4.12.27
					8,080	5.2.3
					8,080	5.3.6
8,080	5.4.6					
8,080	5.4.28					
	小計				96,960	
2	全国病弱虚弱教育研究連盟学校負担金	全国病弱虚弱教育研究連盟	全国病弱虚弱教育研究連盟規約による	全国病弱虚弱教育の研究推進他	10,000	4.5.31
3	近畿東海北陸地区病弱虚弱教育研究連盟会費	近畿東海北陸地区病弱虚弱教育研究連盟	近畿東海北陸地区病弱虚弱教育研究連盟規約による	近畿東海北陸地区病弱虚弱教育の推進他	5,000	4.6.30
4	全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会山口大会参加費	全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会	全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会開催要項による	全国病弱虚弱教育の研究推進他	5,000	4.7.6
5	全国特別支援学校病弱教育校長会会費	全国特別支援学校病弱教育校長会	全国特別支援学校病弱教育校長会会則による	全国特別支援学校病弱教育学校経営の調査研究他	15,000	4.7.11
6	近畿東海北陸地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会三重大会参加費	近畿東海北陸地区病弱虚弱教育研究連盟	近畿東海北陸地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会開催要項による	近畿東海北陸地区病弱虚弱教育の推進他	5,000	4.7.11
	計	6件	/	/	136,960	/

(令和5年度該当なし)

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法
					当初額	変更増減額	計	
参考 1	教育管理費	浜名高等学校 ほか体育館照 明改修工事	浜松市浜北区 西美菌地内ほ か	円 16,676,000	円 16,280,000	円 132,000	円 16,412,000	一般
		合計	1 件	16,676,000	16,280,000	132,000	16,412,000	

(令和 5 年度該当なし)

事 調

(令和4年度)

受注者	着手 完成 年月日	支出済額	工事概要	公有財 産台帳	摘要
(株)KAKEN	着手 4.6.3	円 16,412,000	体育館照明改修及び照明器具昇降装置 撤去工事一式		本庁経理 浜松土木事務所 建築住宅課
	完成 4.9.22		照明器具20台更新		
		16,412,000			

公 有 財 産 調

(令和4年度)

区 分	4年3月31日現在		増		減		5年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 589,311		千円 0		千円 20,563		千円 568,748	
土 地	m ² 29,441.02	371,882	m ²		m ²		m ² 29,441.02	371,882	
立木竹	本 209	1,902	本		本		本 209	1,902	
建 物	m ² 建 2,745.91 延 4,773.54	132,396	m ²		m ²	15,076	m ² 建 2,745.91 延 4,773.54	117,320	価格改定
工作物	個 63	83,131	個		個	5,487	個 63	77,644	価格改定
公有財産に準ずるもの		236						236	
電話加入権	件 4	236	件		件		件 4	236	

令和5年度中増減なし

借 地 借 家 等 調

(令和5年5月31日現在)

整理番号	区分	種 別	所在地	地 目		数量又は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又は契約者氏名	用 途
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
1	土地	敷地	浜松市浜北区於呂 4201-2 独立行政法人国立病院 機構天竜病院	土地	下 水 (暗渠)	152.1m ²	円	円 無償	4.4.1 ~ 7.3.31	独立行政法人国立病院 機構天竜病院 院長	下水道 使用
2	"	"	"	土地	土地	0.52m ²		472	4.4.1 ~ 7.3.31	"	案内板 設置
	計							472			

行政財産貸付・使用許可調

(令和5年5月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年 額			
1	土地	学校敷地	浜松市 天竜区 渡ヶ島 201-2	学校 用地	学校 用地	本 5	円 1,500	7,500	2.4.1 ~ 7.3.31	西日本電信電話 (株)静岡支店長	電柱敷地 電柱2本 支線3条
2	"	"	"	"	"	本 4	1,500	6,000	2.4.1 ~ 7.3.31	中部電力パワー グリッド(株) 静岡支社 浜北営業所長	電柱敷地 電柱2本 支柱1本 支線1条
3	"	"	"	"	"	m ² 219.48		45,210	5.4.1 ~ 6.3.31	社会福祉法人 天竜厚生会 理事長	水道送給水 管敷地
4	"	"	"	"	"	m ² 7.40		免除	3.4.1 ~ 8.3.31	浜松市長	地震対策用 防災倉庫敷 地
5	建物	事務所建	浜松市 天竜区 渡ヶ島 201-2	R C 造 3 階建	R C 造 3 階建	m ² 0.03		免除	3.4.1 ~ 8.3.31	浜松市長	地震対策用 同報無線戸 別受信機
6	"	"	"	"	"	m ² 0.36		免除	31.4.1 ~ 36.3.31	浜松市長	地域防災無 線デジタル 移動通信設 備
合 計								58,710			

□□□□□□

主 要 備 品 調

(令和5年5月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名・規 格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) Pro6300	毎日(201日) 情報等授業	令和2年1月	円 2,647,073
2	2-1	その他の情報処理機器	無線LANアクセスポイント Aruba IAP-305	毎日(365日) 校内18室無線LAN運営	令和2年3月	1,567,500
3	10-7	鍵盤楽器	鍵盤楽器 カワイ グランドピアノ	毎日(201日) 音楽授業	令和4年2月	990,660
4	10-8	その他の芸術用器具	電気陶芸釜 エイコー製H-2	月1回(年間10日) 美術図工授業	平成9年10月	925,000
5	2-2	放送装置	放送装置 WL-SA122、WU-P52、 EV-20R、WU-R72	毎日(201日) 校内放送	平成24年12月	924,000
6	2-1	その他の情報処理機器	校内LANサーバー HP DL320	毎日(年間365日) 校内LAN運営	平成21年7月	793,800
7	1-4	たな	たな 形鋼棚	毎日(年間365日) 防災用品等保管	平成20年2月	756,000
8	1-4	たな	形鋼棚 3.2mm鋼材	毎日(年間365日) 体育器具等保管	平成15年3月	703,500
9	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー 日立RPC-P160H3	夏期59日冬期65日(年間124日) 特別教室温度調整	平成16年3月	702,366
10	3-3	プロジェクター	移動プロジェクター 一式	週2回(年間80日) 各教科授業	平成31年3月	693,360
11	1-4	戸棚	戸棚(壁面収納庫) 900W×450D×4組	毎日(年間365日) 文書等保管	平成9年11月	687,000
12	1-4	書類収納庫	システム収納庫 オフィスユニット42シリーズ	毎日(年間365日) 文書等保管	平成6年3月	644,400
13	10-7	打楽器	打楽器 長胴太鼓2尺 平置台共	週1回(年間40日) 総合学習、交流活動	平成17年8月	640,000
14	10-7	鍵盤楽器	鍵盤楽器 デジタルグランドピアノGP-607	週2回(年間80日) 音楽授業、学校行事	令和2年12月	550,000
15	2-1	その他の情報処理機器	校内LANサーバー等 一式	毎日(年間365日) 校内LAN運営	平成29年3月	529,308
16	6-9	木工用機械	かんな盤 イスベットNK-16	月2回(年間20日) 技術授業	昭和55年10月	518,000
17	3-3	その他の視覚用再生用機器	その他の視覚用再生用機器 IS-77PN+e-黒板アシスタントV3.0セット	月1回(年間10日) 授業	平成26年10月	507,600
18	1-4	移動書庫	移動書庫 カム4953BM3連2列	毎日(年間365日) 文書等保管	平成2年1月	450,000
19	2-1	レーザープリンター・スキャナ	大判インジェットプリンター image PROGRAF	週1回(年間40日) 授業、学校行事	平成22年11月	445,725
20	1-7	その他の書類整理機器	丁合機 RISO TC7100	週1回(年間40日) 学校運営用書類 授業用資料	平成29年3月	437,400